

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>我々は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、その人らしい快適で穏やかなシルバーライフを常にサポートします。 一、心を込めた親切なサービスに努めその心を磨き続けます。 一、さまざま機会を通じて地域の人々との触れ合いを大切にします。 		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎日、朝の朝礼時(午前9時15分～)に、勤務者全員で、理念の唱和を行っています。また、各ユニットの共同リビングに理念を掲示し、常に職員が意識して取り組めるようにしています。</p>		
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>玄関の入口に理念を掲示し、ご面会のご家族様、地域の皆様にもご覧頂けるようにしています。</p>		
2. 地域との支えあい				
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩で外出時には、近隣の皆様に会釈や挨拶をして日常的なつきあいができるように努めています。近隣のお子様が遊びに立ち寄り、ご入居者と歌を唄ったり、折紙やゲームをして楽しむなど触れ合いがもてています。</p>		
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域行事の地区内清掃に、ご入居者様とご入居者のご家族様、職員で、定期的に参加しています。また、ホームで開催する行事に、地域住民の皆様にも参加を頂くなど、地域の皆様と交流を深めていけるように努めています。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>ご意見箱が活用できておらず、「ご意見箱」の存在を知って頂き、気軽に活用して頂けるように、ご入居者様やご家族様に案内をしていきたいと考えています。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職があった場合には、ご利用者様へできるだけ負担が掛からないように新人職員への引継ぎや教育をしっかり行うようにしています。</p>		
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内の研修は定期的に行っています。外部研修については、不定期で市主催の研修に参加しています。</p>		<p>外部研修に参加できる機会を増やしていきたいと考えています。</p>
<p>20</p> <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主催の勉強会や研修に参加し、地域の同業者と意見交換など交流を深めるよう努めています。また、定期的に挨拶廻りに出向き、近況の報告を行っています。</p>		
<p>21</p> <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩時間は業務から離れ、リフレッシュできる時間を確保できるようにしています。また、定期的に職員一人ひとりと面談を行い、不満や悩みを聞くようにしています。</p>		
<p>22</p> <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>コンピテンシー評価（職能評価）があり、努力や実績、勤務状況に応じて評価する制度があります。但し、開設一年未満のため、初回のコンピテンシー評価は9月に実施される予定です。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前に、ご本人様と面談を行い、現在の生活状況や本人様の状態、お困りの事などをお伺いするようにしています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前に、ご家族様と面談を行い、お困りの事や不安な事、ご希望をお伺いするようにしています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時に、本人様とご家族様が必要としている支援を見極め、必要な支援が受けられるように努めています。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご本人様が安心してサービスを利用して頂けるように、入居前にできるだけ本人様とお会いする機会を設け、ホームの情報提供や会話を重ねる中で信頼関係の構築に努めています。少しでも不安を取り除いて安心してご入居頂けるようにしています。入居後も、本人様の生活リズムが変わらないように援助するよう努めています。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ご入居者様の残存能力を活かして生活できるように、できることはして頂けるように環境や条件を整える援助をしています。長い人生経験の中で培われた知恵や教訓、料理や手芸などを教えて下さることもあります。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 利用者と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	ご家族様と一緒に、本人様にとって必要な援助を考えるようにしています。毎月一回は手紙にて近況報告を行うとともに、行事のご案内を差し上げ、ご入居者様と一緒に支える機会を設けるよう努めています。		
29 利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様の来訪を歓迎し、少しでもご入居者様と気持ちよくお過ごし頂けるように取り組んでいます。また、行事のご案内を差し上げ、ご入居者様と一緒に支える機会を設けるように努めています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容院へお連れさせて頂いたり、馴染みの場所へ買い物やドライブにお連れさせて頂いています。		
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士で、ご歓談を楽しまれたり、関わり合いが持てるようにしている。他のご入居者様との関わりが持つことが難しい場合は、職員が積極的にコミュニケーションを図るようにしている。また、ご入居者様同士で歌を唄ったり、ゲームをして楽しむ時間を設けている。		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後のご様子を確認するようにしている。ご家族様の承諾を得てお見舞いに伺わせて頂いています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご入居者様の思いやご意向について、一人ひとりにお話を伺うように努めています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご本人様に生活歴や生活習慣などのお話を伺うとともに、ご家族様にも面会時に伺うようにしています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人ひとりの思いやご意向に沿って、一日の過ごし方を一緒に考え、現在のできる能力を活かした生活ができるように支援しています。</p>	<p>地域性もあり、農家出身の方が多くご入居されています。ホーム所有の畑を充実させて、できる作業を手伝って頂きながら、収穫できるまで楽しんで頂けるように環境と条件の整備を検討しています。</p>
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人様やご家族様のご意向やご要望を伺い、話し合いを行った上で介護計画を作成しています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>病院からの退院時や体調の変化に伴うADLの低下があった場合は、その都度ケアプランを見直し、ご本人様やご家族様と相談して新たなケアプランを作成しています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア日報、介護記録、看護記録、モニタリング記録、排泄チェック表、健康管理表、申し送りノートを活用して記録を行い、職員間で申し送りを行い、情報の共有を行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	急な体調不良の受診の付添や、外出希望時の同行等、ご入居者様やご家族様のその時々状況に応じて支援を行っています。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	フルート演奏のボランティアに来てもらい、鑑賞会を楽しんだり、地域住民の皆様と地区内の清掃活動を行うなど地域資源を活用しながら支援を行っています。		ご入居者様やご家族様の意向を伺って、地域の社会資源の活用や、ボランティアへの協力を検討しています。
41 他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご入居者様やご家族様のご希望に応じて、近隣の美容院やクリーニング店を利用しています。		
42 地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの職員様に運営推進会議に参加頂き、権利擁護に関する情報提供を頂いています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居者様やご家族様のご希望を伺い、協力医療機関の往診、あるいは入居前のかかりつけ医への受診をして頂いています。入居前のかかりつけ医への通院介助についてはご家族様に依頼しておりますが、ご都合がつかない場合は職員による通院の付き添いを行っています。往診・通院どちらの場合も前回の診察からの状況報告を行っており、適切な医療を受けられるように支援しています		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の医療に熱心なかかりつけ医と連携をとりながら、ご入居者様が必要な治療が受けられるよう支援しています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤で看護師が勤務しており、ご入居者様の日常の健康管理やかかりつけ医との連携を行っています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には医療機関に情報提供を行い、入院中も担当看護師にご様子を伺うなど、医療機関との連携を図っています。また、退院時には、円滑に受け入れができるように、医療機関と連携を図っています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の中で、常時医療行為が必要になった場合には受け入れが困難になる旨、本人様とご家族様にお伝えしています。		終末期についての考えをご入居者様やご家族様にお聞きできる機会がもてるように努めて参ります。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所の「できること・できないこと」を明確にお伝えした中で、ご入居者様とご家族様の意向に沿って、かかりつけ医と連携をとりながら支援しています。ホームの看護師との連携も図りできる限り対応しています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者様の個々のできる力に合わせて、食事の準備や後片付けのお手伝いを職員と一緒にしています。また、ご入居者様に買い物から下ごしらえ、盛り付け、片付けまで職員と一緒に becoming 「お菓子作り」を定期的に行っています。		
55 利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつはホームでお預かりさせて頂いていますが、ご本人様のご希望時にその都度お渡しし、いつでも楽しめるようにしています。現在は、たばこやお酒の嗜好品のご希望者はいらっしゃらないが、今後要望があれば、安全に安心して楽しんで頂けるよう支援を考えています。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄のパターン、習慣を把握し、できる限りトイレでの排尿ができるように支援しています。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご入居者様一人ひとりに入浴に関するご希望をお伺いし、できるだけ希望に沿った曜日・時間帯で入浴して頂くよう工夫をしているが、就寝前の入浴のご希望などに沿っていない。		ご入居者様のご希望に沿えた入浴ができるように、勤務時間の見直しや、業務内容の調整を考えています。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活ペースに合わせて、休息したり睡眠をとって頂いています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご入居者様個々の生活歴や生活習慣、ご趣味をお伺いし、その方に合った生活の実現に向けて支援しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	原則は事業所の金庫でお預かりしています。但し、買い物に行った際には、ご希望に応じてお預かりしているお金をお渡しし、ご本人様でお支払いして頂いています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員が同行しての散歩や、ご入居者様の日用品の買い物など、戸外に出かけられるように支援しています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご入居者様のご要望をお聞きして、他のご入居者様やご家族様と外出する機会をつくっています。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様からのご希望があれば、お電話をご利用頂けるように支援しています。また、事務所内にご入居者様用の郵便ポストを設置し、ご自由に利用して頂いています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者が気持ちよくお過ごし頂けるように、職員の元気な挨拶とお茶のおもてなしを心掛けています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人として「身体拘束廃止推進委員会」を設置し、身体拘束を行わないケアに取り組んでいます。また事業所の職員には「身体拘束」に関する研修を行っています。各ユニットに身体拘束のマニュアルを置き確認できる状況になっています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の玄関に関しては、無断外出されるご入居者様の対応が不十分であり、行方不明になられるリスクがあるため鍵を施錠しています。		時間を限定しての玄関の開放を考えています。
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ご入居者様のプライバシーに配慮しながら、所在や様子を把握し、安全に配慮しています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご入居者様の一人ひとりの状態に応じて、ご本人様で管理して頂く物と、事業所でお預かりさせて頂く物をわけています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等に関する資料を作成しています。また、ヒヤリハットや事故報告書を活用し、事故の予防や再発防止に努めています。年2回の防災訓練を消防署と連携して実施しております。		ヒヤリハットの場面を職員全員で共有して、事故の予防や再発防止に努めていきます。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急対応マニュアルを作成し掲示を行い、緊急時に職員が落ち着いて対応ができるようにしています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	所轄消防署の立会いのもと消防訓練を実施しており、ご入居者様の避難誘導の模擬訓練を行っています。また、防災対策マニュアルを作成し、職員に周知徹底しています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人ひとりのお身体の状態や認知の状態によって起こり得るリスクの説明を行った上で、その人らしさを大切にしたい生活が過ごせるようにご本人様やご家族様と相談して支援しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日定期的に測定しているバイタルだけでなく、普段の様子と比べて変化がある場合は、申し送りで情報を共有し、必要に応じて速やかにかかりつけ医に連絡をとるようにしています。		
74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更があった場合や、今までの薬が中止された場合は、その後に体調の変化がないか十分気を付けて様子観察を行い、普段と変わった様子があれば速やかにかかりつけ医に報告するようにしています。		
75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表を利用して、一人ひとりの排便の間隔を把握し、昼食前と夕食前には食前体操として、身体を動かした体操を行っています。また、予防として、個々の状態に応じて乳製品の飲食物を摂って頂くなどの工夫をしています。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態とできる力に応じて、口腔ケアを行って頂けるよう支援しています。また、ご希望の方には週一回、歯科衛生士による口腔ケアも行っています。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康管理表にて、1日の食事量と水分量の把握に努め、好みや習慣、体調に合わせて、必要な食事量と水分量が確保できるように工夫しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成し、職員に周知徹底をしています。 また、職員が外から施設に入ってきた時は手洗いと嗽を徹底させております。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防の為に、台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりや建物周囲には、鉢植えの花やプランターの花を飾り、親しみやすく、訪問者を歓迎する気持ちを示す工夫をしています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居者様と職員が共同作業で作った季節感のある装飾を取り入れ、その時々季節の楽しみを感じて頂けるよう工夫しています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同リビングにはソファを設け、気の合ったご入居者同士でご歓談を楽しまれたり、独りでゆっくり過ごせるように工夫しています。また、足を伸ばして休める場所として共同の和室もご利用頂いています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れたものや大切なものをお持込頂き、できるだけご自宅に近い環境の中で、安心してご生活できるようにご本人様やご家族様と相談させて頂いています。</p>		
<p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>1日3回は定期的に換気を行っています。また、共同リビングの空調設備の温度設定は、夏場は26度～28度前後を目安に設定し、ご入居者様にとって快適な室温を心掛けています。居室の室温管理については、本人様の状況に合わせて調節させて頂いています。</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>共同リビングから廊下、階段、浴室、トイレには、安全に移動、移乗が行えるように手すりを設置しています。玄関口にはスロープを設け、屋内の移動に関しては段差をなくし、安全にお過ごし頂ける環境を整えています。</p>		
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>ご本人様の生活習慣や価値観を大切にしながら、本人様のわかる力を活かして、ご本人様でできる限りできる環境や条件を整える支援を心掛けています。</p>		
<p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>1Fのベランダには、日光浴ができるテラスや菜園があり、気候の良い時にはテラスでお茶や食事を楽しんだり、また菜園には水遣りや手入れをして楽しんで頂いています。</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホームにご入居される以前の生活習慣や馴染みのある事を大切にさせて頂き、できる限りその生活状況に近づけてお過ごし頂けるように取り組んでいます。また、認知症ケアを実践する中で、センター方式を活用して、ご入居者様のその時々の方の気持ちの理解や思いに向き合ったケアに取り組んでいます。